

閉会挨拶

梶谷文彦

医療技術産業戦略コンソーシアム 議長
川崎医療福祉大学特任教授、岡山大学特命教授



METISの共同議長を荻野会長とともに務めております梶谷でございます。一言ご挨拶させていただきます。

本日は大変お忙しい中ご参加いただきまして、本当に有り難うございました。非常に意義深いフォーラムだったと思います。皆さんも貴重な情報をたくさん得られたのではないかと思います。

プログラムコーディネーターを務めていただいた堀先生が心臓にはゴルフのパターでもストレスになりうると言われましたが、今日登壇された先生方はリラックスして分かり易く話をしていただいたように思います。講演者、パネリストを務めていただいた平山先生、磯部先生、南都先生、百村先生、有り難うございました。それからパネルディスカッションのコーディネーターをしていただいた国際医療福祉大学教授、前読売新聞社 編集委員の前野さん、毎年のことながら素晴らしい進行をしていただきました。日頃、聞けない重要な情報を引き出していただき、有意義な会になったと思います。

心臓を鍛えることができるかどうかなど、興味深い話をお聞きいただけたのではないのでしょうか。

閉会挨拶で述べようと思っていたのですが、堀先生も同じようなことを言われました。実は最近、欧米の医療は「患者中心医療」になっています。英語ではPatient EmpowermentとかPatient-Centeredとか言います。健康で快適な生活を送るためにはどのような医療を選ぶか、

その選択は患者さんご自身です。それぞれの人に応じた最適な医療を選択していく必要があります。

医療機器も薬も日々進歩し、今後ますます進歩すると思います。皆さんもそれぞれの専門家とよくご相談いただいて、適切な予防、最適な治療をしていただければと思います。先程、先生方のお話にありましたように、しなくても良い医療を選択しないという事も場合によっては必要でしょう。

荻野会長も紹介されましたMETIS（医療技術産業戦略コンソーシアム）は、産官学、「官」は厚生労働省・経済産業省・文部科学省・内閣府、「学」は大学・研究機関、「産」はもちろん産業界ですが、それらが連携して皆さんにとって必要な医療機器の開発や普及を推進しよう、迅速に医療の場へ供給しようという活動をしています。これからの日本の明るく素晴らしい医療を実現するためにMETISは進化していきます。しかし、皆さまのご理解とご協力と応援がなければ決してうまくいきません。どうぞ今後ともよろしくお願ひします。本日は有り難うございました。